

「終末期ケア専門士」の資格を取得しました

終末期ケア専門士は一般社団法人 日本終末期ケア協会（JTCA）によって2020年に新設されたばかりの民間資格です。

業種・地域・立場など垣根を越えて人生の最期を迎える方に寄り添い、支える終末期ケアのスペシャリストで、主に医療・介護に関わる職種を対象に、

「エビデンスに基づいた臨床ケアができる人材」を育成することを目的としています。

当院リハビリスタッフがこの度、資格を取得しましたのでインタビューを行いました。

①取得されたきっかけを教えてください。

緩和期の患者様のリハビリ依頼が少しずつ増えてきており、緩和期に関わる者として知識を増やしたいと思ったからです。特にがんだけでなく、心不全・神経難病の病態も緩和ケアの対象である点から知識として増やしていきたいと思い取得を目指しました。

②取得にあたって大変だったことはありましたか？

日常の臨床業務と終末期ケアに対しての勉強、医療的ケアについての研修も同時期に行っていたため、息抜きを適宜行いながら勉強する時間を確保するのが難しかったです。

③取得したことで、臨床に活かしたことはありましたか？

現時点ではまだ、活かせたと感じるほど緩和期の患者様と関わる機会が多くないので、これからリハビリの内容だけでなく患者様自身・家族を含めたフォローを行えるように大きい視点で捉えられるようにしていきたいと思っています。

